



アメリカ

## ヒューストン・ケイティ

2016年4月～2019年6月滞在  
(2019年記 2022年修正追記)

子どもの年齢 長男 10歳～13歳 次男 8歳～11歳

### 基本情報

気温	夏 5月～10月は本格的に暑くなり 35度以上高温多湿 冬 12月から冬らしい気温になるが、1月～2月のうち数日は朝0度を切る日がある 昼間は太陽が出て日差しが暖かいが、朝晩は冷える 6月～9月はハリケーンの季節として、短時間の豪雨は頻繁に起こり、時に災害に発展する
緊急電話	警察・消防・救急 すべて911 警察は緊急、命の危険にさらされない内容の場合は地元の管轄警察署の番号にかける
電圧	120V 3つ穴、2つ穴プラグ 日本製品は基本的に変圧器を使う 日本で購入したデジタルカメラ、PC、スマートフォンなどは故障の際、対応ができないこともある
水	硬水でそのままでも飲料可能だが、通常は一軒家ではソフナーという水を柔らかくする装置を使用する 飲料用にはさらに浄水器を通したものかミネラルウォーターを利用する家庭が多い

### 買い物

日本の物	日系スーパー 大道(だいどう)またはセイワマーケット 韓国系スーパー H-mart 日本の製品と類似品がある 中国系スーパー Ranch99 にも少しある
食料品	地元のスーパー HEB、Kroger、Walmart、Randalls、Target は街のあちこちにある アジア系食材ではキッコーマンなどがあるくらい
日用雑貨	日用雑貨はスーパーの他、ダイソー、ジャパンハウス(セイワマーケットの隣)で販売 アジアンタウンの紀伊國屋で本、雑貨を販売 日本から持っていくプリンターは対応インクがあるかどうか確認したほうがよい 家具類は日本においていくことで、帰任した際の生活をすぐにしやすくするか、あるいはアメリカに使い慣れたものを持っていくのか選択するとよい IKEA や Walmart で安価な家具または家具店のアメリカらしいデザインのものの購入が可能 アメリカの家具はサイズが大きいので、日本に持ち帰ることを想定する場合はサイズをよく確認する 近所の人の引越しや日本人の帰任で、家具や生活雑貨を譲り受けることもある
学用品	補習校に通う場合、事前に連絡を取って必要なものを確認する(書道セット、縦笛など) 教科書は該当学年のものを帰国子女財団で受取り、持参 ノート、文房具はセイワマーケットで販売しているが、割高なので急がなければ日本から持っていくほうがよい 三角定規セット、コンパス、分度器、定規は日本製の性能がよく使いやすい 国語辞書は補習校で使うなど必要な場合、日本で購入して持参するか取り寄せる
衣類	日本の冬用の防寒着で十分対応できる

カイロが必要な時は、アウトドアショップで購入可能  
 大体の衣類は現地購入で間に合う  
 夏は室内の冷房がきついので、うすい上着があると便利  
 浴衣は、子供の学校などのイベントで活用できる

## 交通

公共の交通	ごく一部にバス、路面電車があるが、それだけで生活することはできない 家族分、車を用意して日常の移動に使用する
運転免許	国際免許証を持参して運転できるが、3ヶ月以内にテキサス州の免許を最寄りのドライバーズライセンスセンターにて取得する

## 住居

住宅事情	さまざまな形態の街区と家を選ぶことができる 集合住宅(高層コンドミニアム、アパート、タウンホーム)と一軒家(道路沿いに家が並ぶ普通のコミュニティまたは gated community: 入口に守衛がいたり、鍵で門を開けて入るセキュリティが考慮されている) 不動産会社のサイトや口コミで希望のエリアや物件を調べて、現地で実際に見に行き、周辺の雰囲気や学校までの通学路(歩き、バスなど)もあわせて検討する 不動産会社のサイトでは学区の学校の人種構成、成績、世帯所得構成などを調べることができる
日本人が多く住むエリア	Memorial エリア(日本語補習校や学習塾が近い)は古くから日本人が多い Katy はヒューストン郊外の新興住宅地として開発されて人口が増え、日本人も増えている メディカル、宇宙センター関係の方は Clear Lake 方面を選ぶようだ Houston エリアでは主にミッドタウンやダウンタウンに住んでいる
使用者	必要な時にメイドサービスやベビーシッターなどを利用する 人件費が高いので、スポット利用をすることが多い
治安 セキュリティ	治安がいいとされるエリアでもアメリカでは発砲事件や盗難等の事件があるので、暗くなってからの行動には十分に用心する レストランの駐車場などの車上荒らしがよくあるので、車内にあるものが外から見えないようにする コンピューターなどの貴重品は絶対に車内に残さない FACEBOOK や Nextdoor といったソーシャルネットワークサービスで、自分の住むエリアのコミュニティを登録して、日々の事件などをアラート設定し、周りで何が起きているか把握するようにした 誘拐目的で子供に声をかけられることや、ミドルやハイスクールなどでドラッグの問題もあるので学校や Independent School District(ISD:学区)からのメールなどを参考にする ハリケーン等災害対策は地域メディアや領事館等の情報を参考にする

## 教育

通った学校	Alexander Elementary/ Beckendorff Junior High school (Katy ISD)
通った学校の詳細	テキサスで成績優秀な学校として、州上位のハイスクールの学校郡なので、生徒のレベルが高い 学校としては先生方が熱心に指導してくれ、エレメンタリーは基本的にホームルームティーチャーと、ミドルスクールは生徒の成績全体をみるカウンセラーとよく連絡をとった

	<p>個別の教科の相談は専門の先生、ESLや教科の先生に連絡をとると良い 学校内では Wi-Fi について iPad やスマートフォンを使って調べることができる エレメンタリーはタブレットを授業で使用するときに、先生から持ってくるように指示があるが、クラスのものを借用することもできた ミドルスクール以上は基本的に電話、タブレット、PC どれかを持っていくことが必須 家庭との連絡、先生からの指示、授業中、宿題のアップロードなど持っていないと不便</p>
<b>塾</b> <b>家庭教師</b>	<p>チュータリングセンターで 1~3 人程度でリーディング、ライティング等要望して受講する 北米 KUMON でネイティブ向けに開発されたプログラムもある 家庭教師は学校の先生が放課後請け負ってくれることもあり、カウンセラーなどにリストがないか、また直接教科の先生に尋ねてみてもよい 元教師が個人で請け負っていることもあり、インターネットで検索、近所や友人に聞いてみるとよい 日本の学習について、ena や駿台の現地塾の他、オンライン、通信教育等様々なサービスを情報誌の広告やインターネット検索等で見つけることができる</p>
<b>習い事</b>	<p>スポーツはシーズンごと(春期と秋期)に登録する 毎週遠征がある勝ちにこだわりきびしい団体と、楽しむことを目的とする団体がある ダンス、音楽、美術、実験、プログラミングなど様々な習い事を見つけられる</p>
<b>アドバイス</b>	<p>夏休みにはサマーキャンプという名前で、スポーツ、音楽など興味のあるものを初心者でも 1 日、1 週間単位で申し込み、気軽に体験できます。年明けすぐからサマーキャンプの広告が始まり 5 月の学校が終わる前にはコミュニティ誌などに一覧が出て、インターネットでも検索するとすぐみつかります。夏休みは 2 か月ととても長く、日中暑すぎて外にいられる時間が限られるので、ひとりで家にこもるよりアクティビティを楽しみながら、同年代の子どもたちと交流し、英語も上達させることができます。 学校の勉強は英語がわかるようになるまでは、積極的に外部の助け(家庭教師など)を借りながら、宿題や英語の基礎に地道に取り組むとよいでしょう。慣れてきたら日ごろのクラスワーク、宿題、テストなどが点数化されて成績となるので合格ライン(70%)を超えるように努力せます。 ミドルスクール以上の学齢の場合は、まわりの様子をよく見て、家の学習の仕方や習い事などに関して友達や保護者から情報を集めていくようにします。親同士で積極的に話すと教育システムや家庭での取り組み、ハイスクールやカレッジの様子や勉強についてわかることがあります。 学区の ESL のシステムの仕組みや大学の応募方法など多岐にわたる教育セミナーがあるので、興味があれば出かけるといいです。</p>

	<b>病院</b>
<b>医療事情</b>	<p>アメリカ共通の医療システムをまず理解すること 基本的にはかかりつけ医をもち、事前に予約する 急病時は下記の診療形態にて受診する urgent care: 直接医院に行くかオンラインで当日順番待ち、命に別状はない症状 emergency: 緊急で予約なしでかかることができ、24 時間診療している</p>
<b>日本人医師</b>	<p>小児科、歯科、アレルギー科で日本語がわかる方がいると聞いたことがある 現地の日本人コミュニティで確かめると良い</p>
<b>薬品</b>	<p>常備薬として日本から持参 軽い頭痛や軽い風邪の症状、胃腸の不良など自分で対処できる範囲のときに使用した</p>

## 交流

日本人	子供が通学する学校や近所、会社関係の方と知り合うことが多く、細かい生活のことなどを聞くことができる それ以外に JASH(ヒューストン日米協会) <a href="https://www.jas-hou.org/">https://www.jas-hou.org/</a> の生け花教室などのイベントに参加すると、異なる年齢、所属グループ、永住されている方などと知り合える
現地の人	ヒューストンはアメリカで第4位の人口でいろいろな国籍人種がまざっているが、全体的に南部気質でフレンドリー 南アメリカからの人が多いので、スペイン語が第二の公用語になっている 住むエリアにより学校の人種構成が変わる
駐在外国人	アメリカは外国人という概念ではなく、世界中から様々なルーツと事情を持つ人々が集まっている 教会、ISD、図書館、コミュニティカレッジなど有償無償を含め様々な ESL クラスがあり、いろいろな方と知り合うことができ、英語力を気にせず気軽に話ができると思う

## 伝えたいこと

最初は新しい環境に慣れるために、子供にはとにかく学校に明るい気持ちで通えるように配慮しました。最初の数か月は家で英語を勉強しなさいとは言わず、子供たちに毎日学校に行ったらポイントをつけてお小遣いにして買い物に行ったり、週末は家族で遊びに出かけたりしました。学校で何があるのか、子供がどのような様子か、日本人特有の目を合わせて話さないなどの態度を誤解されることのないように、先生に細かいことまでよくメールをしていました。2人ともエレメンタリーから入ったので、PTA のボランティアにサインアップして極力学校に行き、子供の教室に入りました。その際に先生と短い時間でも話をして親が積極的にかかわっていることをアピールして、気にかけてもらえるようにしていました。習い事などで予定をいっぱいにするよりも、あえて時間を空けて近所やクラスの友達とプレイデートすることで英語力もあがりますし、子供たちも友達ができる精神的に安定していきます。最初は英語がわからなくても、公共の図書館や本屋によく出かけて本棚を眺めたり、そこにあるコンピューターのゲームをして遊んだりすることで、英語に対する恐怖やとまどいを取り除いていきました。また、ゲームを始めてしまうとけじめがつかないことが多く、アメリカ人の親も日々この点が悩みの種でよく話しましたが、友達とスポーツ、コミュニティグループへいっしょに行ったり、趣味が似ている子と工作、庭でサバイバルごっこのようなことをしたり、楽しく遊べるようにすることで、ゲームの時間を調節していました。

専業主婦として家族のために奮闘しながら、時に気持ちの浮き沈みもありました。英語に慣れるためにESLクラス、JASHの生け花教室やイベントに参加、子供たちの習い事や学校でのボランティアによって徐々に知り合いが増えました。その中で親しくなった人とお茶、レストランにランチに行ったり、美術館に出かけていきました。趣味をそのまま続けることもいいと思います。週末に家族でレストランを調べておいしい店を探し、日帰り、短期、長期休暇ではできるだけいろいろな場所を訪れるようにしました。テキサスは広大で山、海、プレーリーとエリアで景色が変わります。テキサスバーベキューは名物ですから、店によって味の違いが楽しめます。すばらしい友人、隣人たちと出会い、アメリカにいる貴重な機会を存分に楽しんでください。